



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3404 号 2016.12.15 発行

障害者雇用促進へ連携 労働局、県など協議会

読売新聞 2016年12月14日



障害者の就労促進のために、山梨労働局や県が設立した「山梨障害者雇用対策協議会」の初会合

障害者の就労を後押しするため、山梨労働局や県、高等支援学校、病院などは13日、「山梨障害者雇用対策協議会」を設立した。従業員50人以上の企業は、全従業員の2%以上にあたる障害者を雇うことが障害者雇用促進法で義務付けられているが、その法定雇用率を満たしていない企業が多いのが現状だ。山梨労働局は、障害者の雇用数が少ない企業を集中的に訪問して、障害者を雇用するように働きかけていくことにしている。(渡辺洋介)

県内企業の障害者雇用状況



山梨労働局によると、今年6月1日現在、県内の従業員50人以上の企業554社で働く身体障害者と知的障害者、精神障害者の合計は約1650人。554社の全従業員数に占める障害者の割合を示す実雇用率は1・92%。いずれも過去最高を更新した。

だが、法定雇用率の2%には及ばず、法定雇用率を達成した企業も56・3%にとどまっている。

13日に開かれた対策協議会の初会合で、山梨労働局の能坂正徳局長は、「障害者の雇用者数は増えているが、雇用環境は厳しいのが現状だ。各機関が連携して取り組む必要がある」と呼びかけた。

会合では、各機関が、障害者の雇用促進のためにしている取り組みを報告した。県は、農業への就業を促進するため、農業に関心があるかどうかを施設を通して障害者に尋ねたり、農家に対して、障害者を雇用できるかどうかを打診したりしている。また、病院からは、障害者のケアを行いながら、雇用に積極的な企業を紹介したり、就労のための実習を行ったりしていることが報告された。

各機関からは「働いた経験のない障害者への就労支援が大切だ」「就職した後、職場に定着するための取り組みも重要」などの意見が出された。

対策協議会は、障害者を雇用して、職場に定着させるために、ノウハウを各機関で共有することを確認した。特に精神障害者の雇用者が少ないことから、雇用促進に取り組むことにしている。

能坂局長は「県内でも人口減少が続いているので、障害者にも働いてもらうことが不可欠だ。配慮すれば、健常者と同じように働けるということを、企業に理解してもらえるように取り組みたい」と強調した。

職場の障害者への配慮を一覧表に 企業で活用広がる

NHKニュース 2016年12月14日

障害のある人と一緒に働くとき、職場で配慮すべきことを図を使ってまとめた一覧表を東京都内の大学が作成し、企業などでの活用が広がっています。

この一覧表は文京学院大学が作成したもので、縦30センチ、横40センチの紙に、視覚障害や知的障害など9つの障害についてそれぞれ必要な配慮がまとめられています。

図をたどっていけば具体的にどういった配慮をすればいいか、わかるようになっていて、企業や自治体の間で活用が広がっているということです。

このうち東京・中央区のビルの管理会社では、精神障害のある人を雇用する予定があり、社員に一覧表を配ってできるだけ静かな場所で休憩ができるようにするなどの配慮が必要であることを確認していました。この会社の担当者は「細かい心遣いが書かれていて、よりよい職場作りに生かせると思います」と話していました。

ことし4月に施行された「改正障害者雇用促進法」では、障害者が働きやすい環境を整備することが企業に義務づけられています。

一覧表の作成を監修した文京学院大学の松為信雄客員教授は「障害者への配慮は企業だけの努力では難しい。一緒に働く同僚など現場の人が障害者と働く際の心づもりを知るのに活用してほしい」と話していました。

知的障害者と健常者 一緒にサッカーV狙う

読売新聞 2016年12月14日

◆17日から全国大会 県内2チーム出場

知的障害者と健常者の合同チームで競い合う「第1回ユニファイドサッカー全国大会」に県内から2チームが出場する。大会は17、18日に堺市の「J-GREEN堺」で開催。両チームは今年9月以降、すでに9回の練習を重ねてチームワークも整いつつあり、選手たちは「優勝を目指す」と張り切っている。(小野孝夫)

ユニファイドスポーツとは、知的障害者にスポーツトレーニングや競技会の場を提供している国際的なスポーツ組織「スペシャルオリンピックス」が取り組んでいるプログラムの一つ。世界中で実施されており、知的障害者と健常者が一緒にスポーツの練習や試合を行うことで、互いの理解を深めることを目的としている。

出場するのは、「スペシャルオリンピックス日本・三重」に所属する知的障害者11人と、東海リーグに所属する女子フットサルチーム「NASPA四日市レディース」のメンバーら9人でつくる二つの合同チーム。NASPA四日市は、3年前から知的障害者との合同チーム「チャレンジドFC」をつくって定期的に練習を行ってきた実績がある。

初開催されるサッカー全国大会は、7人制と11人制があり、2チームは7人制にエントリーした。10府県から11チームが出場する。プレーをするのは知的障害者の「アスリート」4人、健常者の「パートナー」3人で、大会までに9回以上の合同練習をするよう定められている。

合同チームは11日、四日市市智積町のフットサル施設で最終調整となる練習を行った。アスリートの山上祐樹さん(32)(鈴鹿市)は「全力を出し切りたい。できれば優勝したい」と抱負を語り、パートナーの山口真並さん(39)(津市)は「アスリートの勝ちたいという気持ちを大切にしながら、チーム全体が楽しめる大会にしたい」と目標を掲げた。

スペシャルオリンピックス日本・三重の田中賢治事務局長は「大会を通じて、お互いの交流がさらに深まることを期待したい」と話している。

職場の障害者虐待 2.4倍 低賃金労働など17件 昨年度県内

読売新聞 2016年12月14日

県は、障害者への虐待に関する2015年度の調査結果をまとめた。虐待と判断された

事例は43件（被害者数59人）で前年度に比べて13件増え、中でも障害者を雇用する事業主ら使用者による虐待が前年度の2・4倍と大幅に増加した。

県障がい者支援課によると、12年10月施行の障害者虐待防止法に基づき、12年度分から公表している。15年度は県や市町村に124件の相談や通報があった。

虐待が認められた43件のうち、家族らによる虐待が前年度比1件増の19件（被害者19人）と最も多く、使用者が同10件増の17件（同28人）。福祉施設の職員らが同2件増の7件（同12人）だった。

家族らの虐待は、母親が全体の35%を占め、父親が20%、夫や兄弟姉妹が各15%。重複を含む虐待の種類は、たたいたりけったりする「身体的虐待」が12件、本人の同意なしに年金を使うなど「経済的虐待」が6件、暴言を浴びせるなど「心理的虐待」が5件などだった。

施設職員の虐待は、「心理的虐待」が4割を超えて最も多く、職員が話しかけられても無視したり、強い口調で言葉をかけたりした事例があった。使用者は最低賃金未満の賃金を支払うなど「経済的虐待」が15件と大半を占めた。

同課は「障害者への虐待に対して、問題意識が広がっていることから相談や通報件数が増加したとみている。引き続き、周知に努め、個別の相談には丁寧に対応していきたい」としている。

【堺男児不明】大阪府警、府に虐待情報の共有申し入れ 産経新聞 2016年12月13日

堺市北区の梶本樹（たつ）李（き）ちゃん＝死亡当時（3）＝の遺体が見つかった事件を受け、大阪府警は13日、児童相談所を管轄する府に対し、虐待の恐れがある親に保護児童を戻す際、府警に事前連絡することなどを申し入れた。児相の設置権限のある大阪市と堺市にも年内に申し入れ、3者と年明けに協定を結ぶ方針。

樹李ちゃんの両親が4年前に別事件で逮捕された後、児相は保護した樹李ちゃんを両親に引き取らせたい際、府警に連絡していなかった。樹李ちゃんはその後、父親の暴行などで死亡したとみられる。

府警によると、虐待の恐れがあるとして保護した児童を親元に返す場合、児相は警察に連絡し、警察は把握する情報を児相に伝えることなどを府に申し入れた。制度上、児相に警察への連絡義務はないが、情報共有を図り児童の継続的な見守りを目指す。

障害者の震災体験 アジアや南米行政官が学ぶ

河北新報 2016年12月14日



アジアの防災担当者らが被災した障害者らの体験に学んだ研修会

防災を担当するアジアや南米の行政官らが13日、東日本大震災で被災した障害者らと仙台市青葉区の国際協力機構（JICA）東北支部で交流し、震災の教訓や防災対策について理解を深めた。

JICAの研修の一環でチリやネパールなど6カ国から17人が参加。同市の障害者支援団体「CILたすけっと」のメンバーら3人が被災体験などを語った。

身体に障害があり、車いすで生活する副代表の佐藤順子さん（54）は「ガソリン不足のためヘルパーの訪問回数が減り、介助が得られずに苦労した」と振り返った。

他のメンバーらも、避難所には障害者向けの設備がないことや、障害者自身が声を上げる必要性などを指摘した。

参加したミャンマー社会福祉省のタン・アウングさん（43）は「当事者の話は大変参

考になった。ミャンマーでも障害者を支援できる環境を整えたい」と語った。一行は県内の被災地などを視察し、17日に帰国する予定。



合唱 障害者、舞台に立つ 「わらび座」終演後、共生信じ NPOなど企画、小松小児童や俳優と共演 大津 / 滋賀

毎日新聞 2016年12月13日
手話を交えながら「ビリーブ」を合唱する「夢の木」のメンバーと小松小児童、俳優たち=大津市の市和邇文化センターで、山本直撮影

内に閉じこもらず、地域と交流したい。そんな希望を持ちながら大津市の精神障害者施設に通入所しているメンバー29人が11日、市和邇文化センターであった劇団わらび座「風

の又三郎」終演後、舞台に立って合唱曲「ビリーブ」を披露した。一緒に練習した市立小松小の6年生児童17人や俳優も参加。こうした機会はめったになく、地元の人たち約500人もペンライトを振りながら声を合わせ、舞台と満席の会場が一体になった。

【駅突き落とし】「このような犯罪どう防げば」鉄道各社に困惑広がる



産経新聞 2016年12月13日
女性が突き落とされたJR新今宮駅の環状線ホーム=大阪市浪速区 (安元雄太撮影)

大阪市浪速区のJR新今宮駅のホームで女性が線路に突き落とされた事件では、電車が数メートル手前で急停車し最悪の事態は免れたが、無差別で故意に突き落とされるような場合は誰もが被害に巻き込まれる恐れがある。ホーム上の安全対策を進める鉄道各社の間には困惑が広がった。

「念頭に置いているのは、不慮の事故を防ぐ取り組み。こうした事件をどう防げばいいのか」。ある鉄道事業者の関係者は頭を抱える。新今宮駅ではJR西日本が蛇行しながら歩いたり、長時間座り込んだりしている人を検知するセキュリティーカメラを導入しているが、突発的な事案への対応の難しさが浮かぶ。

国土交通省と鉄道各社は、視覚障害者らの転落事故を受け、ホームドアの早期設置方針を確認している。3月末時点で、全国の650以上の駅に設置されているが、多額の整備費や終電から始発までのわずかな工事時間がハードルとなり、思うように進まない現状がある。

JR西は新今宮駅を含め、1日の乗降人員が10万人を超える計14駅で優先的にホームドアを整備する方針だ。一方で、同社の担当者は「係員によるホームの巡回や、転落があった際には乗客にも非常ボタンを押してもらえよう周知するなど、地道な対策も進めていく」と話した。

大阪・駅ホーム突き落とし 事件前後の足取りが明らかに

関西テレビ 2016年12月14日

「すごくショックで、信じられませんでした」と語ったのは、13日、殺人未遂の疑いで逮捕された、朝鮮籍の中川晃大こと裴晃大容疑者(28)の母親。裴容疑者は、11日午後5時ごろ、大阪市のJR新今宮駅のホームで、18歳の女子高生と63歳の女性の体を押し、線路に

転落させて、殺害しようとした疑いが持たれている。
誰もが使う駅のホームで起きた、ショッキングな事件。
裴容疑者は警察の調べに対し、「18歳の女の人なんて触っていません。でも63歳の女性については、力を込めて触ったらホームに落ちたのです」、「殺そうなんて思っていません」、「逮捕されると思い、必死に逃げたのです」と話しているという。
裴容疑者は、知的障害 B2 と認定されている。
大津市の区分では、知的障害は一般的に、重度の A1 から軽度の B2 と区分されていて、多くの人の知能指数(IQ)が、80 から 130 といわれているのに対し、厚生労働省の定義では、軽度の知的障害は、おおむね IQ50 から 70 の人が該当するという。
軽度の知的障害は、小学校 5、6 年程度の学力で、合理的な判断や抽象的思考に乏しい傾向がある一方、日常生活を送り、仕事をすることも可能なレベルだという。
そして、今回の事件の前後の足取りが明らかになってきた。
母親は「(いつから家を出ていた?)日曜日のお昼 12 時 15 分くらい」と話した。
裴容疑者は、11 日昼すぎに滋賀・大津市を出て、午後 4 時ごろ、大阪市の JR ユニバーサルシティ駅付近に。
裴容疑者は、犯行のおよそ 1 時間ほど前、JR ユニバーサルシティ駅付近のレストランで、無銭飲食をしていた。
店員が裴容疑者の母親と連絡を取っている間に、裴容疑者は逃走。
そして、午後 4 時 59 分、新今宮駅に。
ホームで人にぶつかりながら歩いている姿が、防犯カメラに記録されていたという。
午後 5 時 2 分、18 歳の女子高生の左肩を押し、5 時 3 分に、63 歳の女性をホームに突き落とす。
午後 5 時 11 分、裴容疑者は、反対側のホームから電車に乗って逃走。
この前後、家族は行方不明届を提出している。
そして、6 時間後の午後 11 時、名古屋に。
名古屋駅を出てすぐのインターネットカフェを利用して、金を支払わなかったとして、愛知県警に保護されていた。
行方不明者届が出ていたため、裴容疑者は保護され、その後、大阪府警の問い合わせにより、事件の関与が浮上し、逮捕に至った。
線路に落とされた女性は「もう二度とやってほしくない。犯人が捕まったからといって、また電車乗ったら、トラウマになってしまう」と話した。
裴容疑者の母親は「本当に申し訳ございません。衝動的な面で困ったことがあるから、ずっと通院していた。薬は嫌がって飲まない。薬を飲んでいたら、こんなことには、たぶんならなかったと思います」と話した。
警察は、責任能力の有無も含め、慎重に調べる方針。

社会福祉施設の経営難相次ぎ、買収合戦も



NETIB ニュース 2016 年 12 月 13 日
社会福祉施設の破綻、事業停止の情報が目立つようになってきた。国から補助を受けながらも、適切な事業を行わず、血税だけを懐に入れる悪徳業者も多いと聞くが、まっとうに取り組んでいる事業者からみれば、迷惑極まりない話だ。そのような悪徳業者排除のため、政府が支援を減らす傾向にある。これでは適正な運営を行っていても、資本のない法人は淘汰されてしまう。福祉事業関係者の苦労が方々から聞こえている。

宇美町に有料老人ホームを運営していた新設

の株式会社は、見込んでいた入居者を集めきれず、10月に破綻。現在、同所不動産を管財人から一任された不動産業者が売却の話を進めている。すでに買い手と交渉中。築2年と新しい施設だが、立地はお世辞にも良いとは言えない。

もう1件は、県北に位置する障害者福祉施設。こちらも運営は株式会社。利用者がいることから、事業は継続されているが、経営者との連絡が取れない状況にある。施設責任者も、経営者と連絡が取れない状況で、不安のなか、運営を行っているようだ。

新設法人（小資本）の破綻、大資本の買収による拡大。この二極化が今後も進んでいく。

【東城 洋平】

東京都の予算要望ヒアリング2日目 医療・福祉関係を中心に

NHK ニュース 2016年12月13日

東京都の小池知事が新年度の予算編成に向け業界団体などから直接、要望を聞き取るヒアリングは、2日目の13日、医療・福祉関係の団体を中心に行われ、受動喫煙対策の強化をはじめ、予算措置以外の政策要望も行われました。

都の新年度、平成29年度の予算編成に向けたヒアリングは、2日目の13日、医療・福祉関係を中心に8つの団体を対象に行われました。

13日は予算措置以外の政策要望も多く行われ、このうち、東京都医師会は、健康寿命を伸ばすための受動喫煙対策の強化や、4年後の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、東京を訪れる外国人に対して日本の医療機関の受診や支払い方法の周知を求めました。

また、東京都知的障害者育成会は、小池知事が都議会で明らかにした障害者の差別解消に向けた条例の確実な制定を求めたほか、東京都生活協同組合連合会は、高齢者や子どもの見守りや防犯に協力しているとして生協の配送車両の一時的な駐車を認める規制緩和を要望し、小池知事はそれぞれに「しっかり対応したい」などと応じました。

ヒアリングは、60の団体を対象に今月21日まで行われます。

要望を終えた団体は

予算要望のヒアリングを終えた東京都知的障害者育成会の佐々木桃子理事長は「知事と直接話して要望を伝えることができよかった。公開されることでこういう団体があることを都民に知ってもらいたい機会になったと思う」と話していました。

また、東京都医師会の尾崎治夫会長は「15分という限られた時間で十分に伝えられたかわからないが、知事の話を知っていると、われわれの要望についてよく理解していると感じた。政党であっても知事であってもわれわれは都民のため、医療のために要望する」と話していました。

教育費も老後資金も足りない 無計画貧乏 家計再生コンサルタント 横山光昭

日本経済新聞 2016年12月14日

「大学に入学するときに払う100万円ぐらいのボーナスが入ればなんとかなると思っていたんです」。こう話すのは、大学進学を控えた高校3年生の息子がいるパート主婦のRさん(51)。ボーナスと貯蓄を合わせれば初年度納入金の前期分くらいは払えると思っていたし、その後の学費や生活は、奨学金に頼ればなんとかなると思っていたそうです。

春に公立高校で奨学金の説明会があり、私立大学に入学するときは入学金のほか、前期分の授業料や設備費、教科書代などで100万円以上必要になることや、奨学金の仕組みや利用の仕方についての説明を受けました。



奨学金の申し込みを済ませ安心していましたが、息子がAO入試を受けることになり、受験時期が早まったのです。もし合格したら、冬のボーナス前に前期の納入金を支払わなくてははいけません。

「貯蓄から約50万円、冬のボーナスから約50万円。これで100万円ぐらいの学費の支払いは大丈夫だと思っていたのですが、どう工面したらよいでしょうか？」

Rさんのご家庭は、会社員のご主人(55)の収入が手取り約30万円、奥さんもパートで約5万円の収入があります。3人暮らしなのでそれなりに貯蓄もできそうですが、家計表を見ると収入はすべて使い切っています。現在の貯蓄は80万円ほどと、ご主人が会社で積み立てている財形年金貯蓄のみです。

貯蓄ができない理由はすぐにわかりました。塾代が毎月6万円弱もかかっています。「受験のため塾や夏冬の講習会にお金がかかりましたが仕方がないです」とRさん。「高等学校等就学支援金」が支給され、授業料は無料になっているのに、その恩恵を全く感じられない金額を塾に費やしていました。

「受験が終わると塾代がなくなるので楽になる」とRさんは言いますが、それは間違いです。これから4年間、子どもの大学の学費を払い続けるのです。

いまから少しでも、そのためのお金をつくっていかなくてははいけません。しかし、Rさんは学費について「奨学金を毎月10万円ほど借りて、それでも足りない分は子どもがバイトしたり、私たちが出したりすれば大丈夫です」と簡単に話します。

しかし、それでいいはずはありません。4年間で貸与される奨学金の額は合計480万円。相談時の利息は約0.5%だったので、返済総額は505万円を超えます。息子は20年間にわたって毎月約2万円を返済し続けなくてははいけません。

契約者は子どもです。もし、卒業後就職できなかつたら？ 体を壊してしまつたら？ フリーターのような非正規職員になつたら？ 心配なことが多々あります。

子どもが返済できなければ親に請求がくるでしょう。借入額が大きすぎて、私はお勧めできませんでした。さらに、Rさんご夫婦はもう50代なのに貯蓄がほぼないのです。ご主人の財形年金貯蓄だけでは老後生活のプランにも不安を感じます。

「お子さんの将来のことはわかりませんから、借りすぎは禁物です。老後資金も心配ですから、家計を見直しつつ、学費の工面と老後資金づくりをしていきましょう」と提案しました。

家計改善の前に、まず、不足する大学入学手続きのお金をどうするか。結果的には、国の教育ローンに50万円の借入れを申し込みました。金利は2%ほど。審査結果が出るには2週間ほどかかるため、合格発表後の申し込みでは遅すぎます。返済計画を立て、試験前に申し込みました。

返済額は利息や保証金も含めて毎月1万1000円です。卒業時に返済が終わるように返済期間を4年間としたので利息は総額約2万円、保証金は1万円弱です。少々もったいないのですが、いたしかたありません。

ご主人の財形年金貯蓄は解約しませんでした。財形年金貯蓄は利息に20.315%の税金がかからず、積み立てたお金は60歳を過ぎると5年以上20年以内の期間で、年金形式で受け取ることができます。ご主人が年金の上乗せにと、長年コツコツと積み立ててきたというので、これをなくしてしまうのは問題だと思ったからです。

極端に削れる支出はありませんでしたが、まだ格安スマホを導入していなかったので変更しました。日用品代やお酒代を減らして何とか2万円支出を減らし、いずれ不要になる塾代の分については今後の学費の積み立てに4万円、ローン返済に1万1000円充てることにしました。息子さんの小遣いは「アルバイトをするというのでいらない」ということで、なくしました。

支出は3万2000円削減でき、余剰金1000円と合わせ、毎月3万3000円を貯蓄できるようになりました。ご夫婦はもう50代ですから、ボーナスはできるだけ貯蓄に回すことにしました。年間80万~90万円ほど支給されるそうですから、そこから60万円ほどを蓄え

ると、60歳までにあと350万円ほど貯蓄を増やせます。

手取り月収: 夫	296,000円		
妻	52,000円	計	348,000円①
貯蓄	: 80万円+夫の財形年金(300万円ほど)		
月の支出			
費目	金額		
住居費(ローン+管理費)	73,000		
食費	54,000		
水道光熱費	28,000		
通信費(スマホ代、固定電話代、ネット代)	28,000	→ 12,000 (▲ 16,000)	
生命保険料	24,000		
日用品代	8,000	→ 6,000 (▲ 2,000)	
医療費	4,000		
教育費(ほぼ塾代)	58,000	→ 51,000 (▲ 7,000)	
交通費	4,000		(1.1万円はローン返済、残りは学費の積み立てに充てる)
被服費	5,000		
交際費	5,000		
娯楽費	2,000		
こづかい(夫3万円 息子5000円)	35,000	→ 30,000 (▲ 5,000)	
嗜好品	7,000	→ 5,000 (▲ 2,000)	
その他(新聞・NHK・理美容など)	12,000		
支出合計	347,000	② 削減計(▲ 32,000)	
①-②=		1,000円	

教育費がかからなければ、貯蓄が順調にできそうな家計。塾代が家計を圧迫していて、大学入学費用の準備も老後資金もつくりだすことができていない

→

おなじみだが、まずは大きな固定費である通信費を削減。入学資金の不足はローンで補ったので、計画的に返済できるように授業料の積み立てとともに予算を立てる。支出調整をしたところ3万3000円のゆとりができたので、老後に向けて貯蓄する

教育費にお金を使い、なかなか貯蓄ができず、肝心の進学費用が出せないご家庭や、定年も近いのに教育費にお金をかけすぎて老後資金がつかないご家庭が最近増えているように感じます。「気が付いたときにはす

でにとき遅し」という場合が多いのですが、将来に向け我が家は教育費をかけすぎているか、今後いくら必要になるかを考えてほしいものです。

いま、奨学金を利用する学生は40%以上となり、およそ2人に1人は利用しているといわれます。「利息あり」の貸与の場合、月の貸付額は3万～12万円の幅で選べます。低金利のため負担は小さいように感じますが、大学卒業時に背負う借金額としては大きなものになります。

利用は可能な限り必要最小限にして、社会人のスタート時はできるだけ身軽な状態にしてあげたいものです。子どものお金と、自分たちの老後のお金、バランスを見ながら、どちらも困らないようにためていけるのがベストです。

